REPORT 2023

上半期ディスクロージャー誌

（令和5年4～9月）

あなたの、いちばんであるために。

山梨信用金庫

ごあいさつ

平素より、山梨信用金庫をお引き立て賜り厚く御礼申し上げます。

皆様に当金庫に対するご理解を深めていただくとともに、安心してお取引いただけますよう2023年度上半期の事業の概要・活動状況についてとりまとめましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

今後も地域に根差した金融機関として、地域の皆様と当金庫との共存共生を目指して役職員一丸となって積極的に取り組んでまいります。皆様におかれましては、より一層のご理解とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月　理事長　五味節夫

当金庫の概要（2023年9月末現在）

本　　店	甲府市中央一丁目12番36号
創　　立	1926年11月16日
普通出資金	38億円
会 員 数	63,862人
常勤役職員	365名
店 舗 数	33店舗

理事長指針

協心協働

全役職員が心をひとつに目指す姿に向かって
高い志と熱い思いをもち、健康で地域ありきの
行動に徹し「地域経済活性化」に寄与する

経営理念

一、 地域を結ぶかけ橋となり、
地域社会の繁栄に貢献します。

一、 幅広い視野と変革意識を持ち、
最良の金融サービスを提供します。

一、 経営基盤を強化し、
健全で安定した経営に努めます。

一、 職員相互に高めあい、やりがいと
成長を実感できる職場を創ります。

スローガン

私たちは、お客様の笑顔のために、
自らの力を余すことなく注ぎます。

考動指針

組織力の強化 ― 2S・3C運動の展開

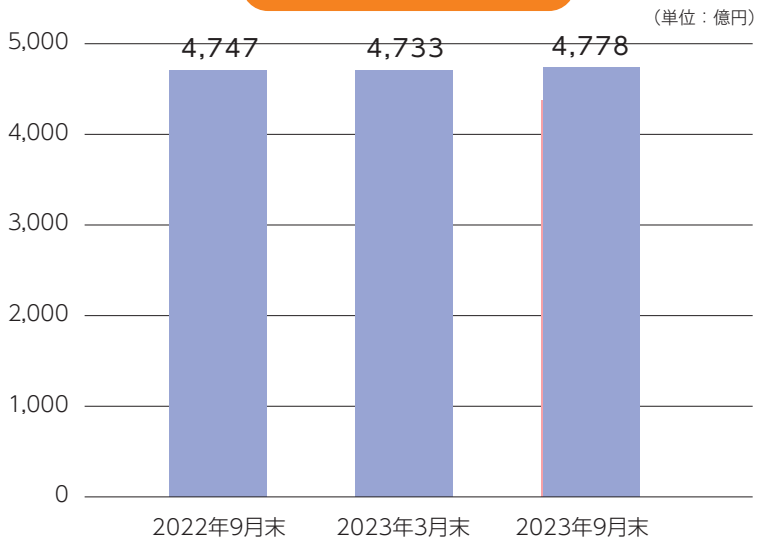
2023年度上半期における事業の概況

預金積金残高・人格別内訳の状況

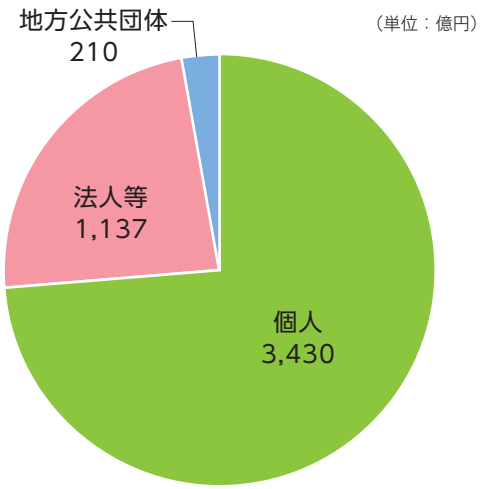
預金積金は、個人のお客様から3,430億円、法人等のお客様から1,137億円、地方公共団体から210億円をお預入れいただいており、前年同期比31億円増加の4,778億円となりました。

引き続き、新商品やサービスの充実を通じて、地域のお客様からのご信頼、ご支持をいただけるよう努めてまいります。

預金積金残高の推移



人格別構成比

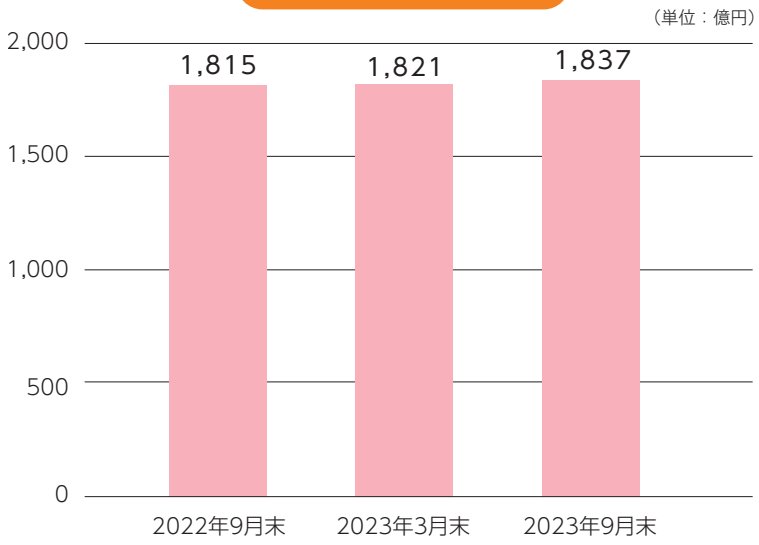


貸出金残高・業種別内訳の状況

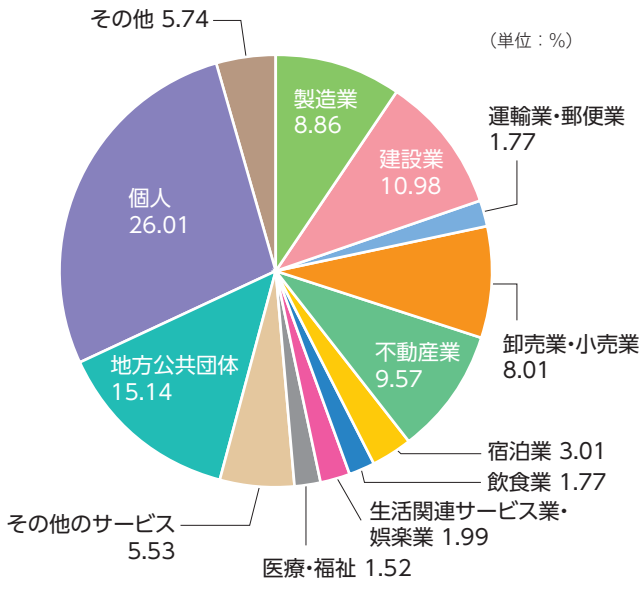
貸出金残高は、事業先への迅速な支援の取組みや、職域パートナー制度を活用した個人ローンの推進、融資先数増強を意識した営業活動を行った結果、前年同期比21億円増加の1,837億円となりました。

貸出金の業種別残高の構成では個人のお客様へのご融資が最も多くなっておりますが、特定の業種に偏ることなく、様々な業種のお客様からご利用いただいております。

貸出金残高の推移



業種別構成比



※図表中の金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。以下の各図表における金額についても同様です。

損益の状況

最終利益である当期純利益は、前年同期比 64 百万円増加の 769 百万円となりました。経常収益は、新型コロナウイルス感染症に対する事業先への低金利の資金繰り支援等を背景とした貸出金金利の低下に伴い貸出金利息が減少した一方、預け金利息が増加したこと等により、同比横這いの 2,773 百万円となりました。

経常費用は、同比 66 百万円減少の 1,990 百万円となりました。

この結果、経常利益は783 百万円、本業の収益力を示すコア業務純益は 500 百万円を計上しております。

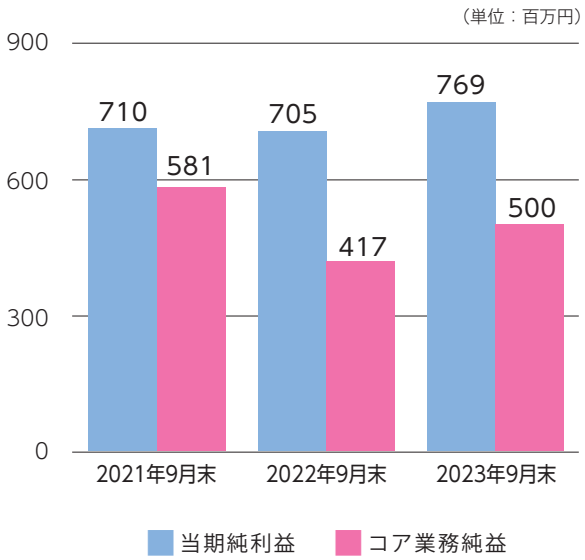
損益の内訳

（単位：百万円）

	2021年9月末	2022年9月末	2023年9月末
経常収益	2,870	2,774	2,773
うち貸出金利息	1,651	1,643	1,636
うち余資運用収益	673	526	612
うち役務取引収益	268	253	250
うち貸倒引当金戻入益	31	45	34
経常費用	2,141	2,056	1,990
うち預金利息等	27	26	24
うち役務取引費用	222	211	221
うち経費	1,804	1,756	1,708
経常利益	729	717	783
コア業務純益	581	417	500
特別損益・税金等	▲18	▲12	▲13
当期純利益	710	705	769

（注）余資運用収益：預け金利息、有価証券利息配当金、国債等債券売却益、国債等債券償還益、株式等売却益の合計額

当期純利益・コア業務純益の推移



有価証券の状況

お預りしている資金のうち、貸出金で運用している以外の余裕資金については、その一部を有価証券に投資しております。

当金庫では、お客様からお預りした資金を安全に運用することに留意し、公共債・国内社債を中心とした運用を行っております。

有価証券評価損益の状況

（単位：百万円）

その他保有目的	2023年3月末			2023年9月末		
	貸借対照表計上額	取得原価	差　額	貸借対照表計上額	取得原価	差　額
債　券	82,839	85,157	▲ 2,318	78,712	82,637	▲ 3,924
株　式	1,806	1,834	▲ 28	1,852	1,640	212
そ の 他	15,113	17,220	▲ 2,107	14,981	17,274	▲ 2,292
合　計	99,758	104,213	▲ 4,454	95,547	101,553	▲ 6,005

満期保有目的	2023年3月末			2023年9月末		
	貸借対照表計上額	時　価	差　額	貸借対照表計上額	時　価	差　額
債　券	7,655	7,673	18	8,537	8,357	▲179
そ の 他	200	198	▲ 1	200	196	▲ 3
合　計	7,855	7,871	16	8,737	8,553	▲183

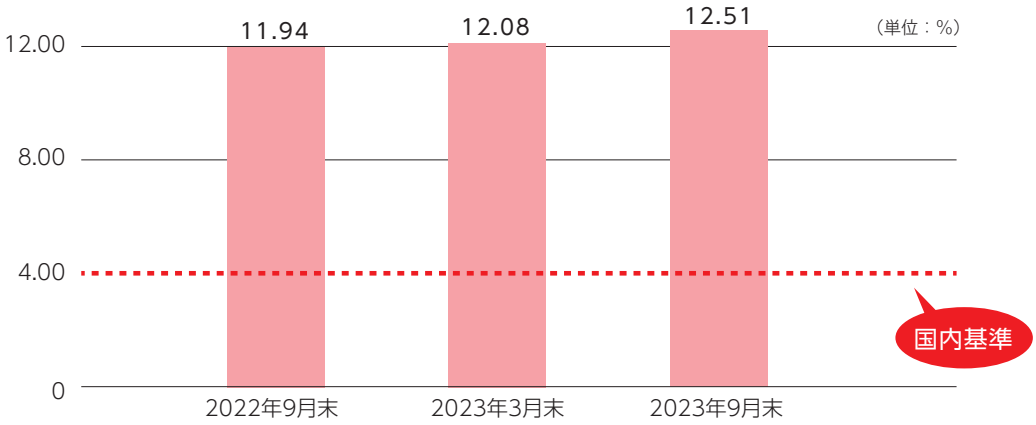
（注）1.「その他」は外国証券及び投資信託等です。
2.市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の経営の健全性・安全性を表す重要な指標のひとつです。当金庫の自己資本比率は、前年同期比0.57ポイント上昇の12.51%となりました。また、健全性の目安とされる国内基準４％を大きく上回っております。

今後とも経営の健全性を維持していくため、収益力の強化に努めるとともに自己資本の充実を図ってまいります。

自己資本比率の推移



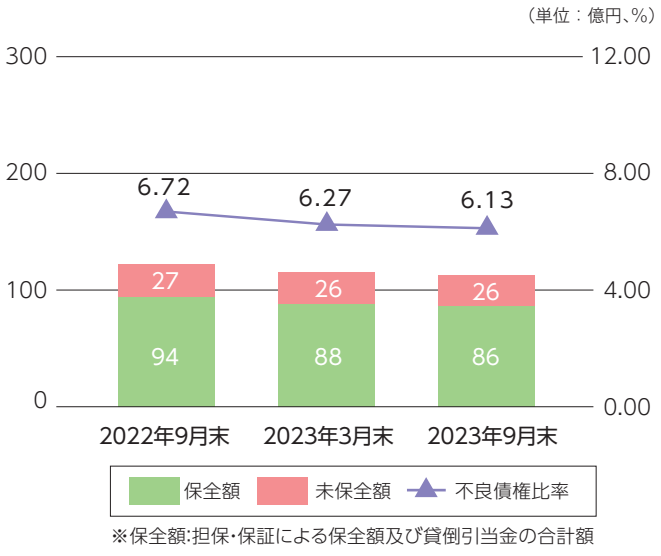
国内基準の
4%を十分に
上回っています。

不良債権の状況

不良債権額は112億円となり、前年同期比９億円減少しました。この結果、不良債権比率は同比0.59ポイント改善の6.13%となっております。また、これら不良債権に対する担保・保証ならびに貸倒引当金による保全率は76.70%となっております。

今後もお取引先の経営改善・再生支援に努めるとともに、不良債権処理を進め資産の一層の健全化を図ってまいります。

不良債権額の保全・未保全額の推移



※保全額:担保・保証による保全額及び貸倒引当金の合計額

債権区分の内訳と推移

（単位：億円、%）

区　分	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	48	43	42
危険債権	68	66	65
要管理債権	5	5	5
三月以上延滞債権	0	0	0
貸出条件緩和債権	5	4	4
不良債権額 (A)	**122**	**114**	**112**
正常債権	1,699	1,712	1,730
合　計 (B)	**1,822**	**1,826**	**1,843**
不良債権比率 (A)÷(B)	**6.72**	**6.27**	**6.13**
保全額 (C)	**94**	**88**	**86**
保全率 (C)÷(A)	**77.35**	**77.23**	**76.70**

◇用語解説

【破産更生債権及びこれらに準ずる債権】破産、会社更生、民事再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

【危険債権】債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

【要管理債権】「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

【三月以上延滞債権】元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。

【貸出条件緩和債権】債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。

【正常債権】債務者の財務状態及び経営成績に特に問題のない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

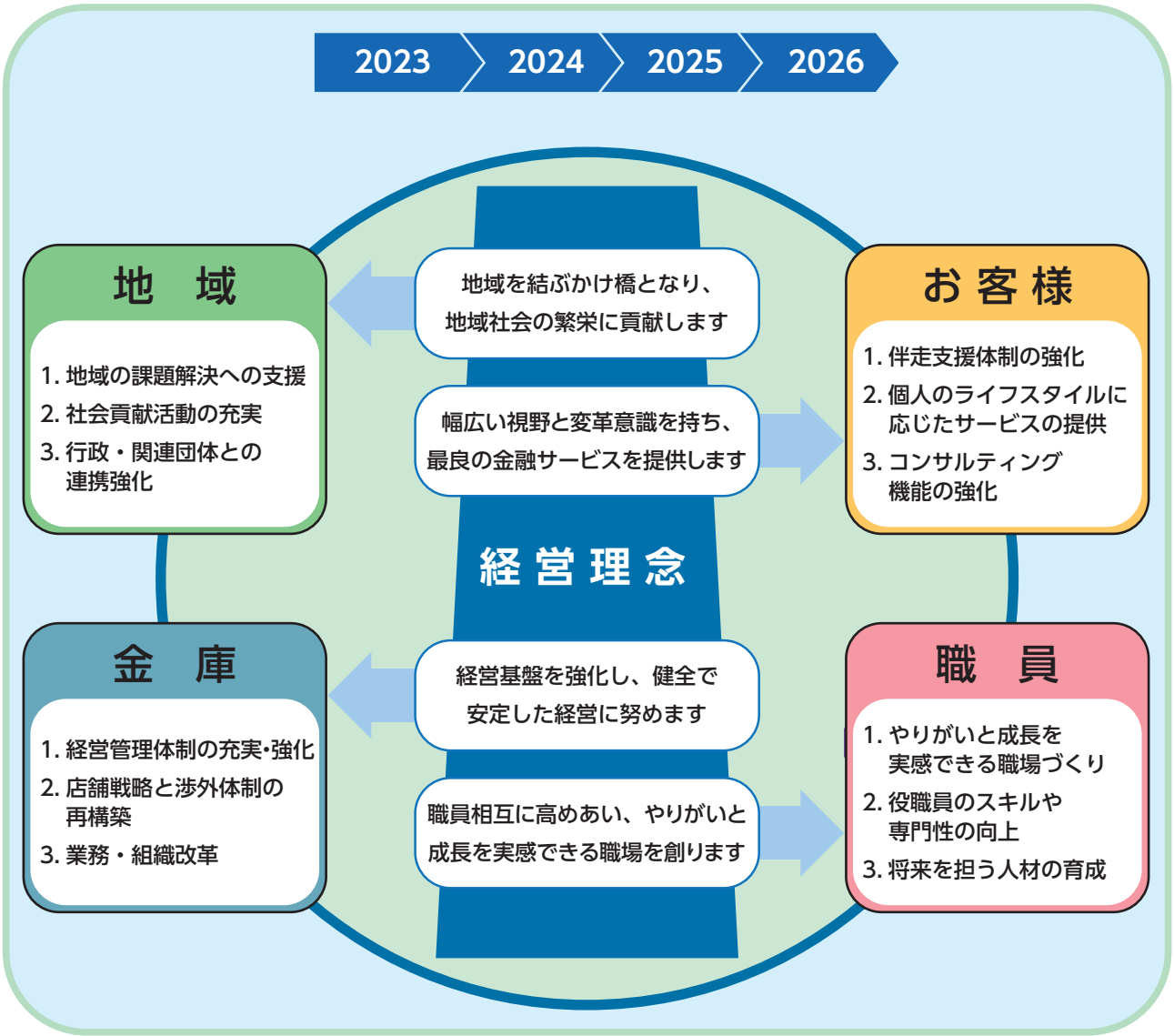
中期経営計画（2023年度～2026年度）

当金庫は、1926年11月16日に創立し、2026年度で100周年を迎えます。本計画は、100周年までの4カ年計画とし、「Road To 100 ～変革と挑戦～」をテーマに、役職員が自らの行動･意識を変革し、「協心協働」の理事長指針のもと、更なる高みに向かって全役職員が心をひとつに挑戦してまいります。

「中期経営計画のテーマ」

Road To 100 ～変革と挑戦～

「中期経営計画の概要」



SDGsへの取組み

上半期の主な取組み内容

●「信用金庫の日」の清掃活動

「信用金庫の日」（6月15日）にちなみ、山梨県信用金庫協会共同事業の一環として、本部および営業店周辺の清掃活動を行いました。

●「こどものみらい古本募金」寄附キャンペーン

地域の皆様から古本の寄付を募り、提携する古本販売業者の買取金額を「こども未来応援基金」へ寄付する取組みに参加しました。

●「中部横断自動車道開通に伴う連携に関する協定書」への加入締結　～しんきん中部横断道コネクト～

山梨県・長野県・静岡県における経済交流（物流・文化・観光）の活性化を見込み、地域経済の発展に貢献することを目的に 7 信用金庫による連携協定を締結しました。

●よい仕事おこしフェア実行委員会※と相模原市との地域経済の活性化に向けた連携に関する協定の締結

「よい仕事おこしフェア実行委員会」の協賛金庫として、相模原市内に営業店を構える 4 信用金庫とともに、同市と「地域経済の活性化に向けた連携に関する協定」を締結しました。
また、協定締結を記念した活動として、同市津久井在来大豆を使用したエール仕込み式に参加しました。

※「よい仕事おこしフェア実行委員会」とは、全国の信用金庫のネットワークを活用した、地域経済の活性化や地方創生の推進に関する取組みにより、日本全体を元気にすることを目的として設立された団体です。

おすすめ商品のご案内

職域ローン

当金庫と「職域パートナー契約」を締結いただいている事業所にお勤めの個人のお客様がご利用いただける、お得な商品です。
手続き面でご利用いただきやすくなっているほか、金利面でも大変お得な商品となっております。

お客様の用途に合わせ、以下5つの商品をご用意しております。
★職域オートローン
★職域教育ローン
★職域リフォームローン
★職域フリーローン
★職域カードローン

個人向けローン

当金庫ホームページより、個人のお客様向けのローンについて仮審査のお申込みを受け付けております。
また、お申込みからご融資までをインターネット上で行い、お客様の署名・捺印・来店が不要なWEB完結型のローンも取り扱っております。スマートフォンやタブレットからもお申込みいただけますので、お気軽にご利用ください。
★URL：https://www.yamasin.jp
★スマートフォン・タブレットからはこちら　⇒

※一部、ホームページからお申込みいただけない商品がございます。

特別定期預金「未来」

令和8年に迎える当金庫創立100周年を記念した特別商品です。
お預入期間:5年間
金利:0.1%
取扱期間:令和6年3月29日まで

山梨信用金庫
〒400-0032 甲府市中央1-12-36　https://www.yamasin.jp/
お問い合わせは　経営企画部　TEL：055(225)0213

特殊詐欺にはご注意を！